東大知財の現在地

東京大学における知的財産の現況を示す主要な指標を「東大知財の現在地」としてまとめました。
新たに825人の研究者から499件の発明が創出され、8075件の特許ポートフォリオが構築されました。
知的財産の活用によって、4779件の技術移転がなされ、1049百万円の知の価値が生まれました。

研究成果の特許化を目指した研究者

825人

2025年度の発明届に記載の
教員・学生等の人数（重複を除く）

新たに創出された発明数

499件

2025年度の発明届出件数

新たに権利化を目指した特許出願件数

1,179件

2025年度の国内外の特許出願件数

知財ポートフォリオを構成する特許群

8,075件

大学が承継・保有している特許権（出願中の特許を受ける権利含む）の件数

社会実装に向けた知的財産の技術移転

4,779件

2025年度に既存企業・スタートアップ等に
実施許諾・譲渡された知的財産権の数

東大知財が生み出した知の価値

1,046百万円

2025年度に東大知財から得られた
直接的な知的財産関連収入（TLO手数料除く）

知的財産を活用したスタートアップ創出

187社

東京大学関連スタートアップ743社のうち
東大知財を活用した企業の累計数

2025年度末現在

東京大学の知的財産活動実績

東京大学では知の創出から社会実装・還元へ巡る知財エコシステムの構築に取り組んでいます。
そこで、発明の届出、知的財産の保有・管理、知的財産の活用状況、知財収支を網羅的に把握し検証することで、
東京大学の知財ポートフォリオの最適化を目指しております。

東京大学では、学内の多様な研究活動から生み出される知的財産（東大知財）を、社会にインパクトをもたらす重要な経営資産として位置づけています。今年度の報告書では、従来の個別項目による報告内容を再編し、発明の届出から権利化、技術移転、スタートアップ創出、そして知財収支に至る一連のプロセスを「持続可能な知財エコシステム」の循環として一体的に捉えた「東京大学の知的財産活動実績」としてまとめました。以下に示す各種データは、本学が推進する知的財産活動の現状と、社会実装に向けた多角的な取り組みの成果を示しています。

1.「知」の創出と戦略的な権利化（発明届出・出願・保有）

教員や研究員等から提出される「発明の届出」は、本学における知財創出活動の原点です。職務関連発明について、新規性や進歩性といった特許要件に加え、将来の社会実装や権利活用の可能性を踏まえて承継を判断し、適切な権利化を進めています。既存企業との共同研究に基づく共有特許の活用を促進するとともに、単独保有特許の戦略的な権利取得や適切な棚卸しも推進し、国内外において事業化を支える強固かつ最適化された特許ポートフォリオを構築しています。

- **発明届出数：499件**
- **承継率：83.8%**
- **出願件数：1,179件**
- **保有特許件数：4,976件**
  うち、単独特許：1,109件
  うち、共有特許：3,867件

2. 多角的な知的財産の保護と技術移転（活用・ライセンス）

本学の知的財産活動は特許権にとどまりません。プログラムやソフトウェア等の著作物、ノウハウ、成果有体物（マテリアル）など、研究活動を通じて生み出される多様な無形資産をその特性に応じて保護・管理しています。技術移転機関である株式会社東京大学TLO等と密接に連携し、これらを特許権等と組み合わせて包括的にライセンス（知財パッケージとして活用）することで、既存企業やスタートアップ等における製品化・事業化を後押ししています。なお、大学ロゴ等の商標についても本学のブランド価値の確保のため適切に管理しています。

- **特許権実施許諾等件数：4,591件**
- **ソフトウェア著作物等の利用許諾件数：166件**
- **商標権保有件数：173件**

3. スタートアップを通じた社会実装とエコシステムの形成（スタートアップ創出）

東大知財を活用したスタートアップの創出は、研究成果を迅速に社会へ届け、新産業を創出するための大きな柱です。本学では、起業前段階からの知財戦略支援や関連機関と連携したシームレスな創業支援等を通じ、知財を基盤としたスタートアップの創出加速とエコシステムの形成を強力に推進しています。

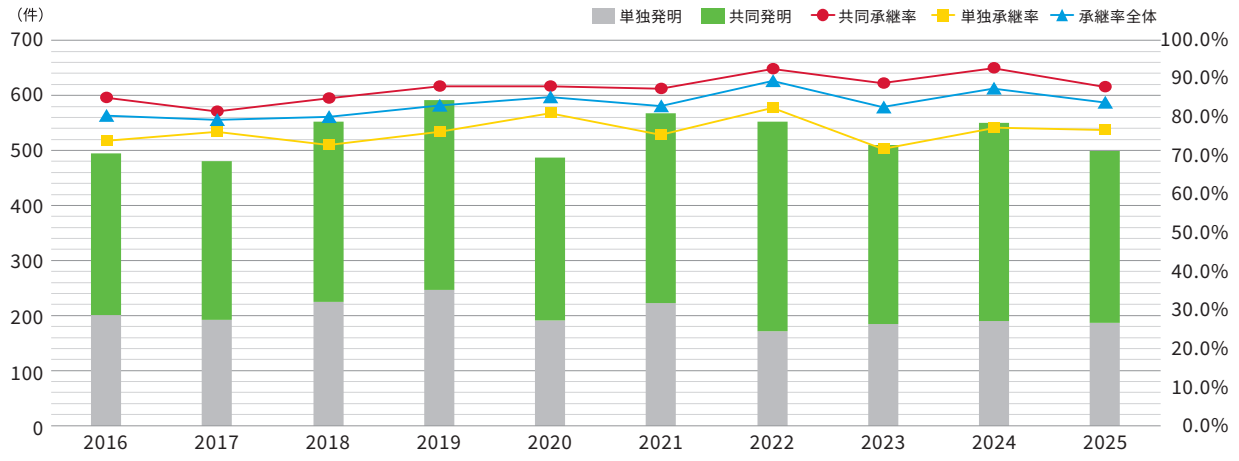
- **スタートアップ創出数：743社**
  うち、東大知財活用：187社

4. 知財収支と持続的な再投資の循環（収入・支出）

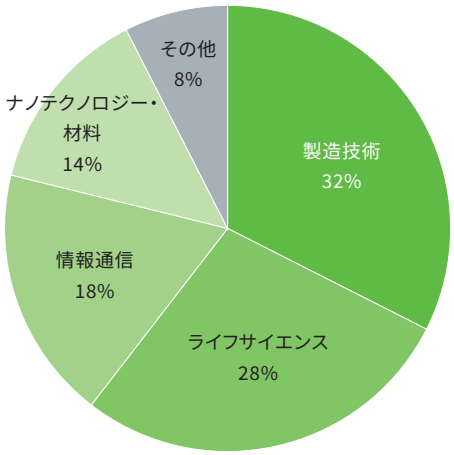
特許出願手続や権利取得、特許権の維持に係る直接的な知財支出を要する一方、ライセンス契約（一時金、ランニングロイヤリティ、マイルストーン等）やMTA等により得られる直接的な知財収入は、費用控除後に創出者（発明者等）への実施補償金として還元されるとともに、所属部局や本部における新たな研究活動の原資へと分配されます。知財から生まれる収支は単なる財務指標にとどまらず、新たな研究開発を誘発し、次代のイノベーションへとつなぐ「知の循環構造」の原動力となっています。

- **直接的な知財支出：238百万円**
- **直接的な知財収入：1,046百万円**

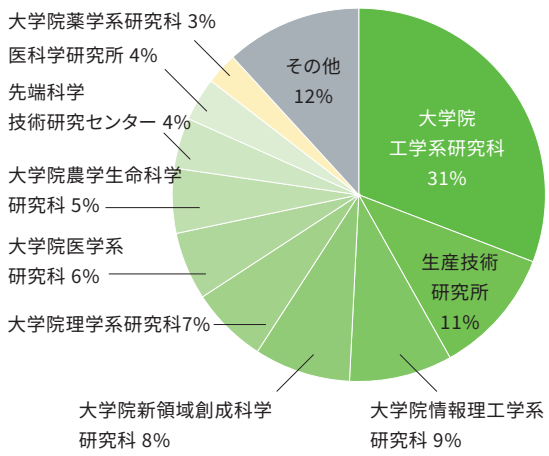
発明届と承継率の推移



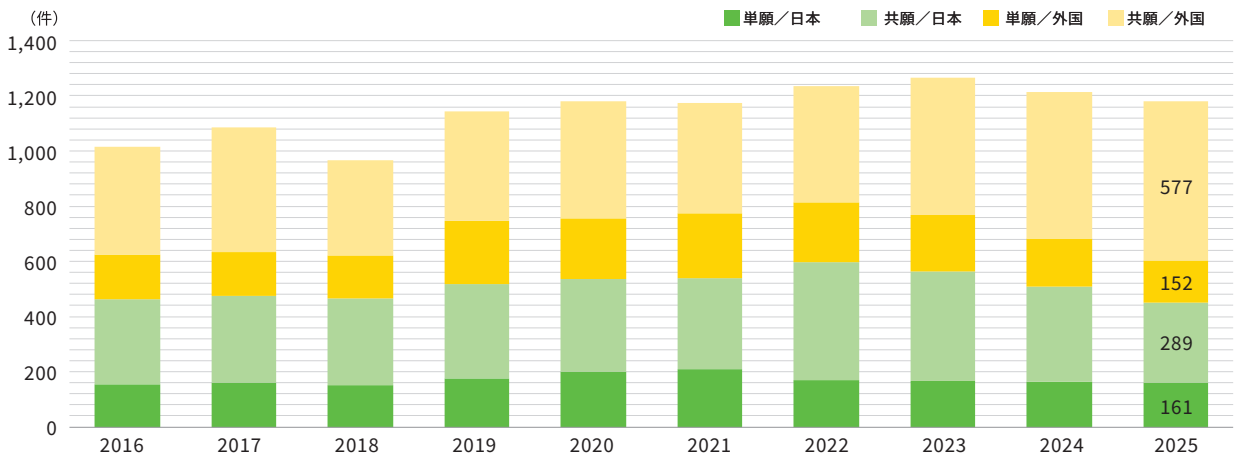
過去10年間の発明届に記載された発明の技術区分



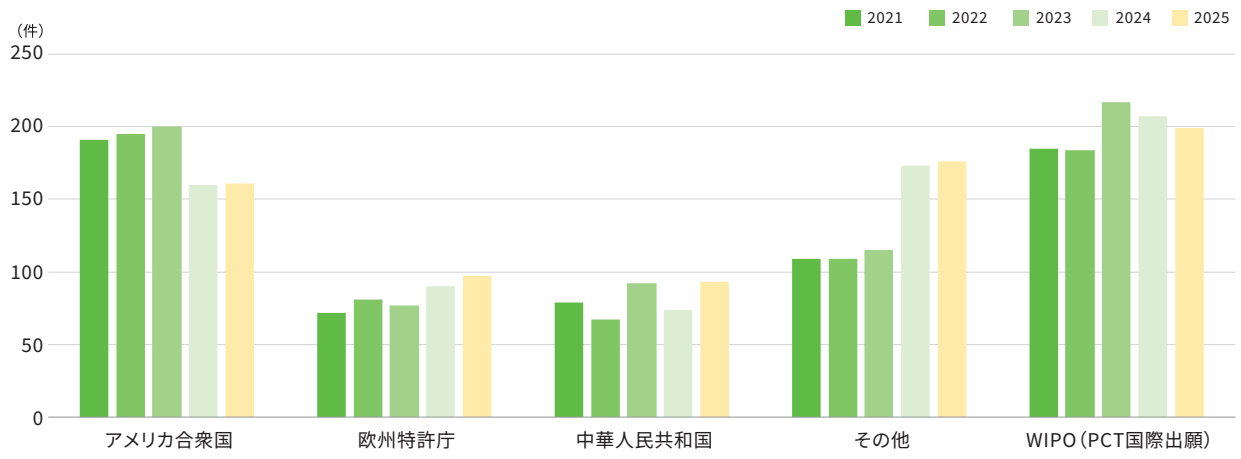
過去10年間の発明届の提出元部局



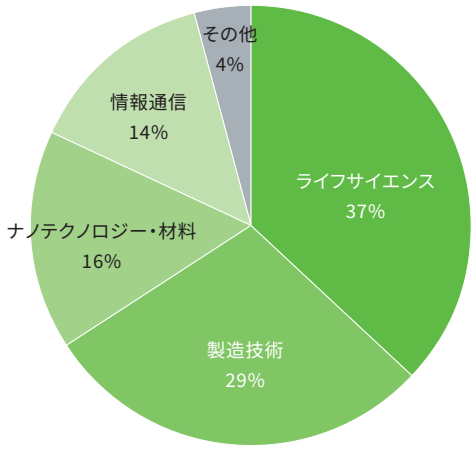
出願件数の推移



主要国・地域別外国出願及びPCT国際出願の件数推移

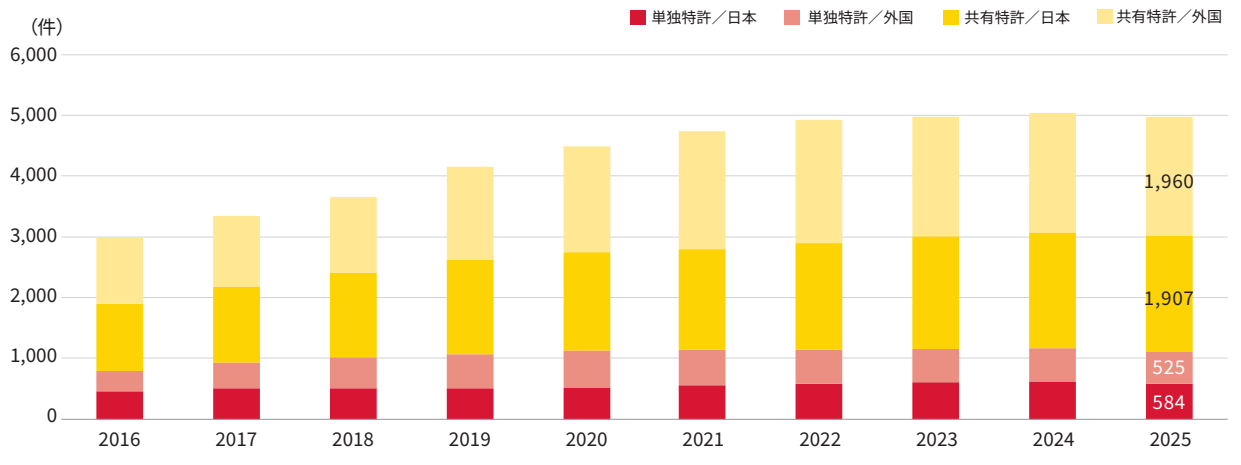


過去10年間の特許出願に記載された発明の技術区分

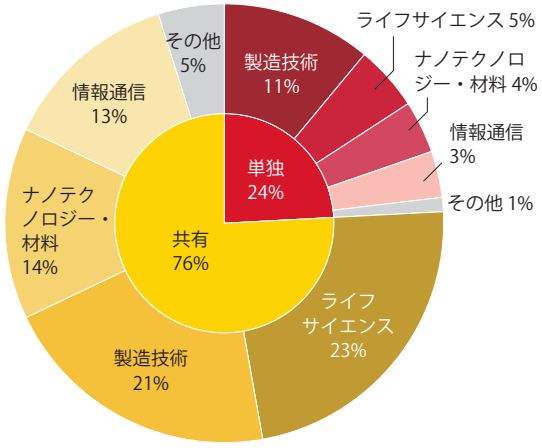




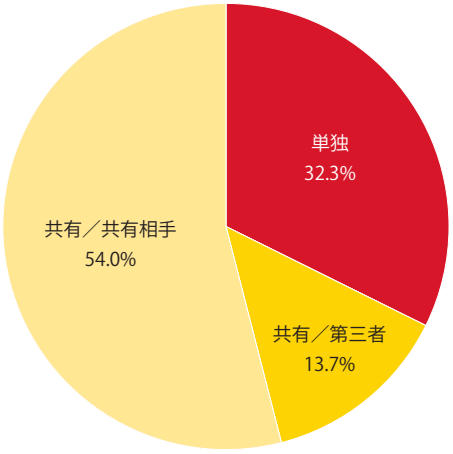
保有特許件数の推移



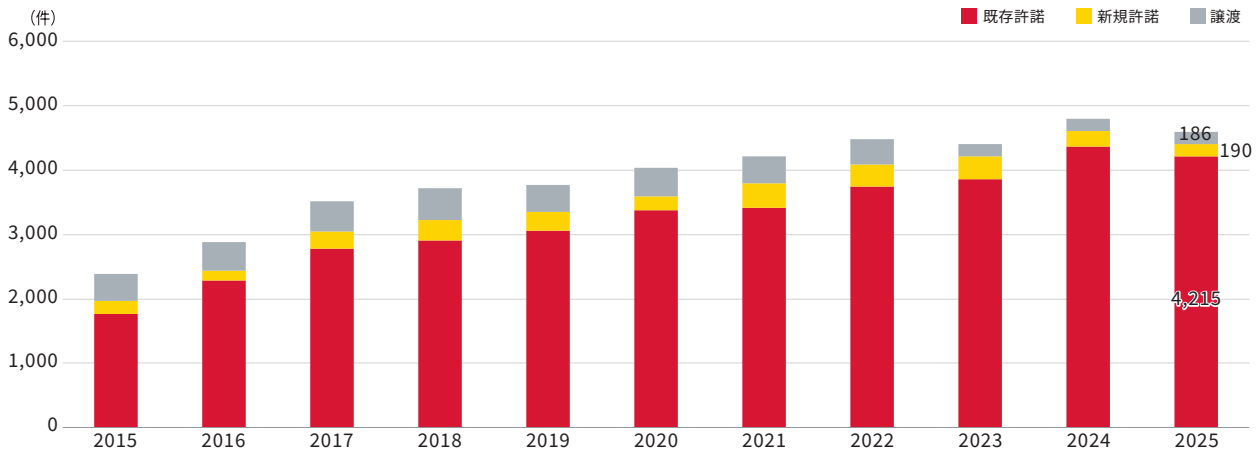
保有特許（出願中含む）の帰属・技術区分内訳（2025年度）



特許権実施許諾等の内訳（2025年度）

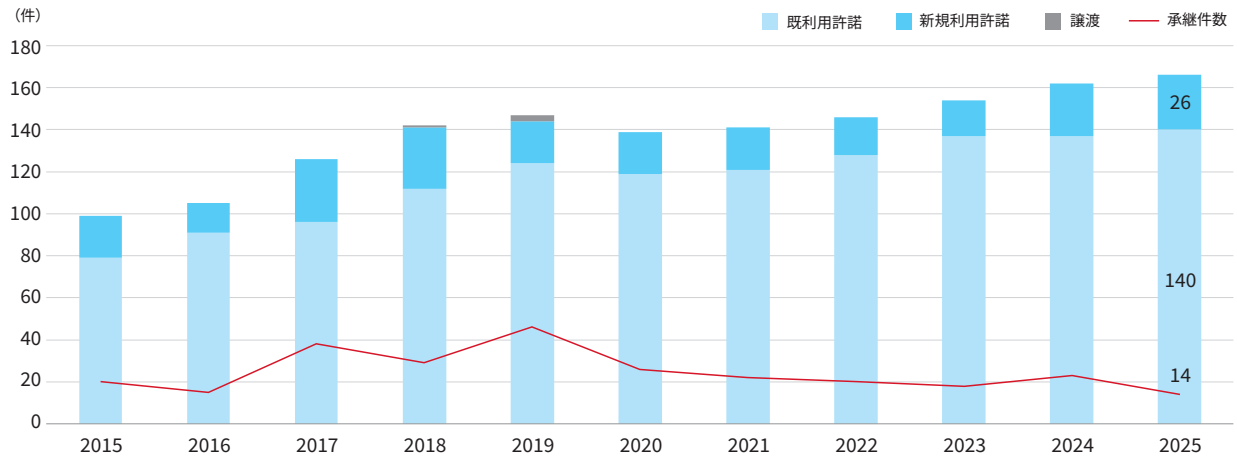


特許権実施許諾等件数推移





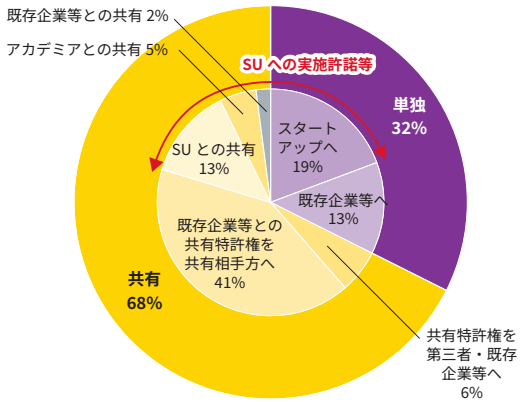
ソフトウェア著作物等の新規承継件数や利用許諾件数



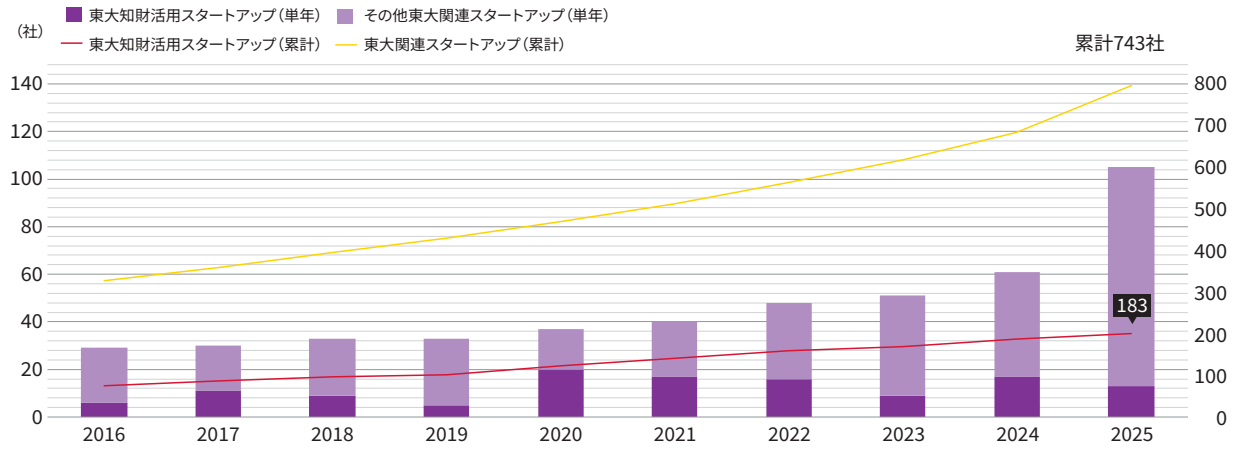
その他知的財産（大学承継・保有件数等）

	保有件数	実施許諾件数	収入があった件数
ノウハウ	20	15	15
実用新案権	-	-	-
意匠権	8	11	13
商標権	173	11	11
回路配置利用権	-	-	-
育成者権	2	-	-

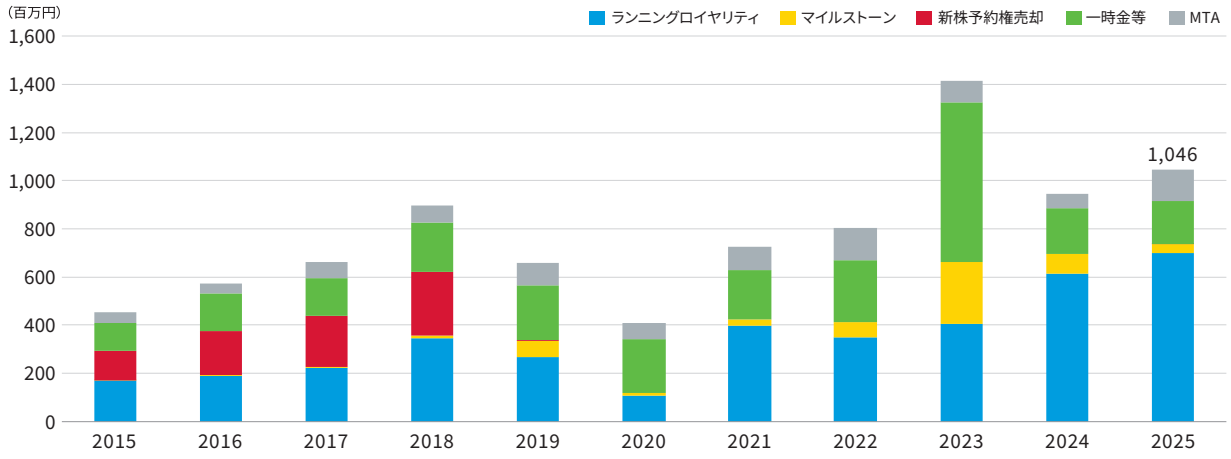
実施許諾等特許権に占めるスタートアップ企業への実施許諾等の割合（2025年度）



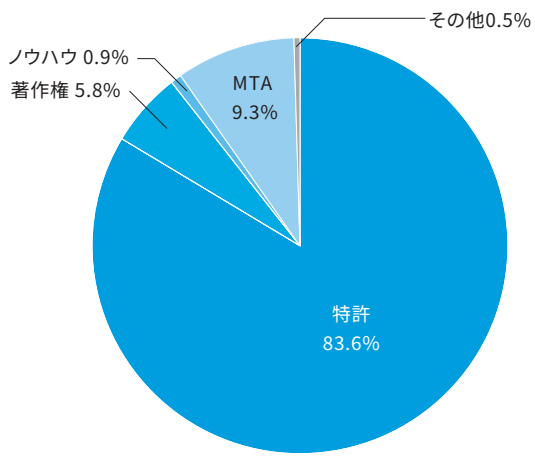
東大関連スタートアップ創出数の推移



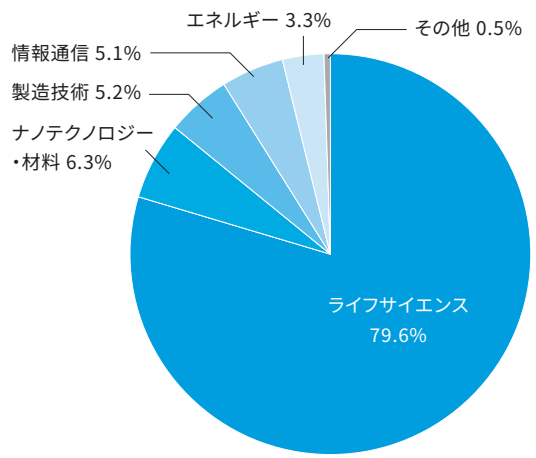
知的財産関連収入の推移



知的財産関連収入の知的財産権別内訳（2025年度）



特許権実施料収入の技術区分別内訳（2025年度）



出願手続き・維持費用の推移

